

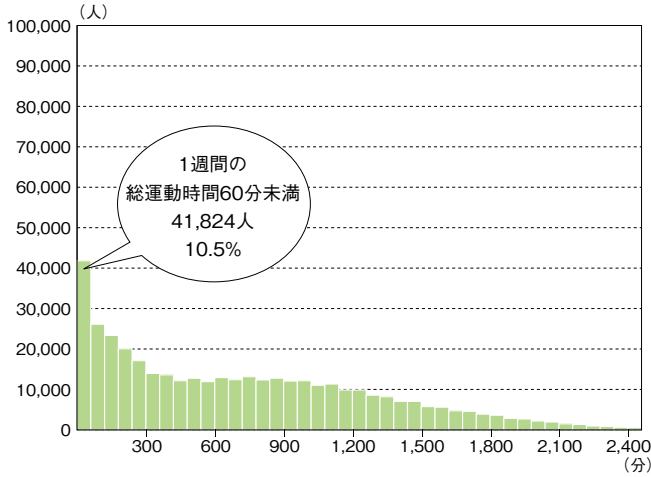
II 調査結果の特徴

1. 児童の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から

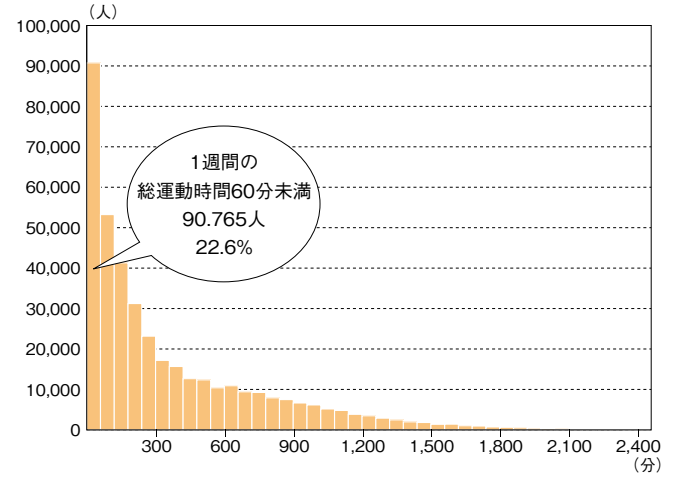
1 | 1週間の総運動時間の分布

①1週間の総運動時間の分布をみると、平成20年度調査と同様、運動をほとんどしない児童が多く、特に女子においては顕著であった。

● 男子



● 女子

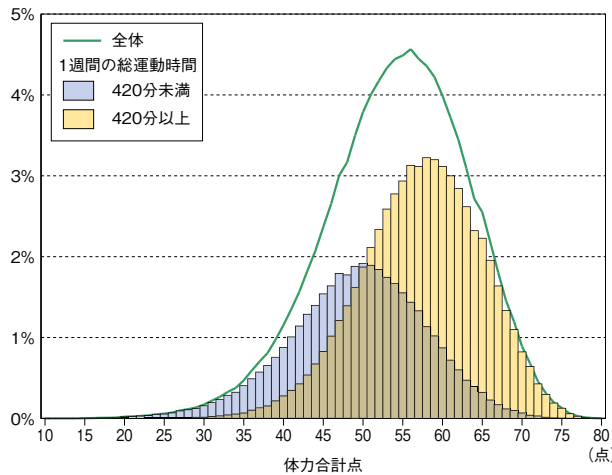


小学校

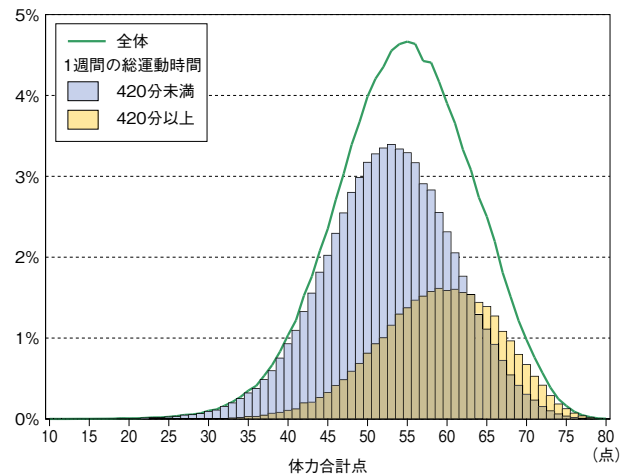
2 | 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

①1週間の総運動時間と体力合計点との関連をみると、男女とも運動時間の多い児童ほど体力合計点が高い傾向がみられた。

● 男子



● 女子



■ 1週間の総運動時間の算出方法

- ① 平日の運動時間：時間帯別運動時間【質問12】を合計
- ② 平日の運動日数：【質問5】の回答を次のように換算（1=4日）（2=1.5日）（3=0.5日）（4=0.1日）
- ③ 平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④ 土曜日の運動日数：【質問13-2】の回答を次のように換算（1=0.25日）（2=0.5日）（3=0.75日）（4=1日）
- ⑤ 土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間【質問13-3】×土曜日の運動日数④
- ⑥ 日曜日の運動日数：【質問14-2】の回答を次のように換算（1=0.25日）（2=0.5日）（3=0.75日）（4=1日）
- ⑦ 日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間【質問14-3】×日曜日の運動日数⑥
- ⑧ 1週間の総運動時間：平日の総運動時間③+土曜日の総運動時間⑤+日曜日の総運動時間⑦

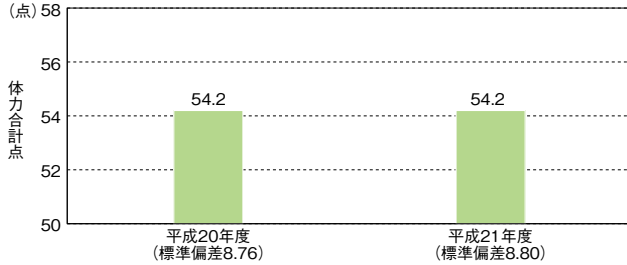
2. 児童の体力、運動・生活・食習慣の変化～平成20年度と平成21年度の比較

1 | 体力・運動能力

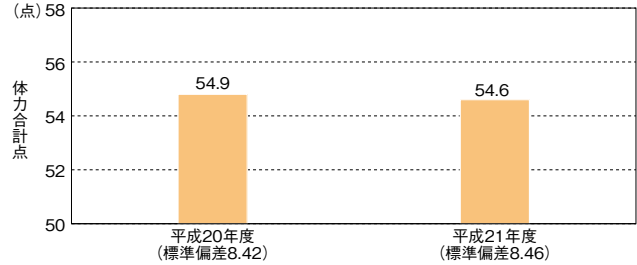
① 体力合計点

① 体力合計点については、平成20年度に比べて、男女ともほとんど変化はみられなかった。

● 男子



● 女子

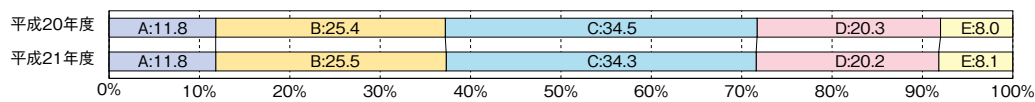


小学校

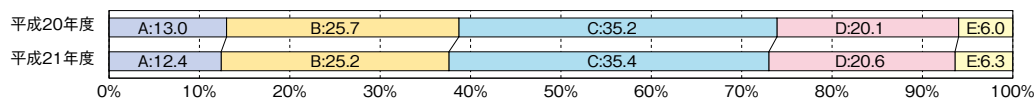
② 総合評価 (段階別)

① 総合評価については、平成20年度に比べて、男子はほとんど変化はみられなかったが、女子はA+Bの割合がわずかに低かった。

● 男子



● 女子



2 | 運動やスポーツの実施状況

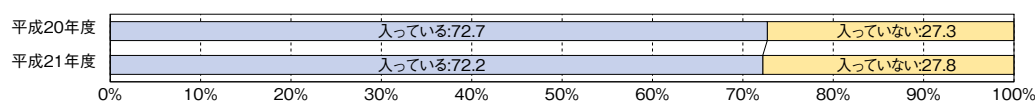
① 運動部やスポーツクラブの所属状況については、平成20年度に比べて、男子はほとんど変化はみられなかったが、女子は「入っている」割合がわずかに低かった。

② 運動の実施頻度については、平成20年度に比べて、男子は「ほとんど毎日」の割合がわずかに高かったが、女子はほとんど変化はみられなかった。

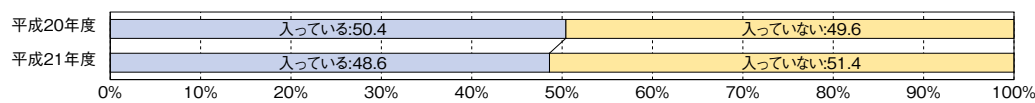
③ 1日の運動時間については、平成20年度に比べて、男女ともほとんど変化がみられなかった。

① 運動部の所属状況

● 男子

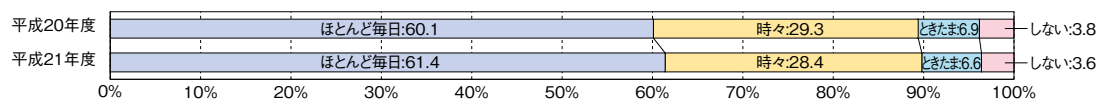


● 女子

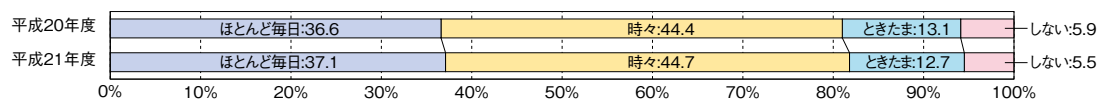


② 運動の実施頻度

● 男子

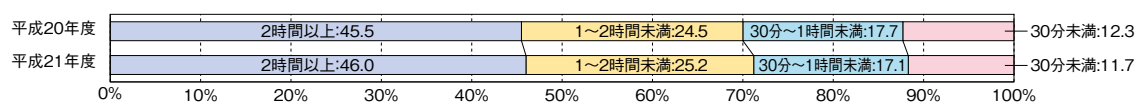


● 女子

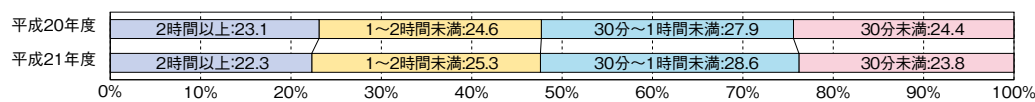


③ 1日の運動時間

● 男子



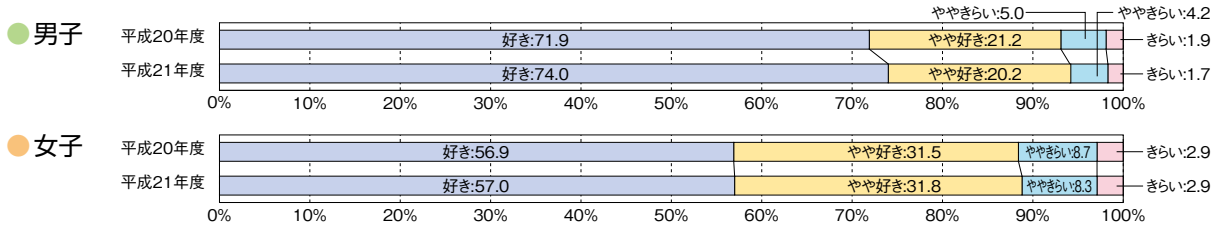
● 女子



3 | 運動やスポーツに対する意識

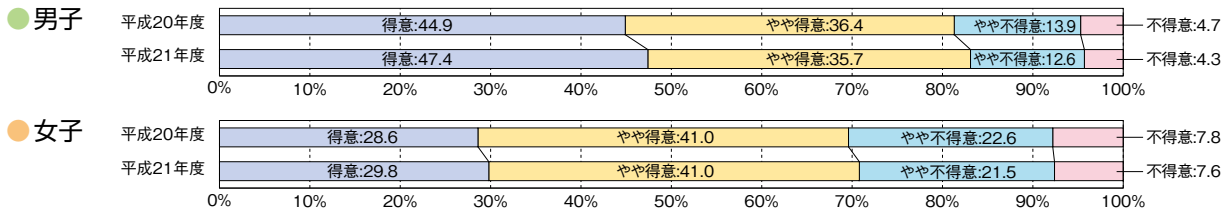
① 運動の好き・嫌い

① 運動やスポーツをすることの好き・嫌いについては、平成20年度に比べて、男子は運動やスポーツをすることが「好き」の割合が高かったが、女子はほとんど変化がみられなかった。



② 運動の得意・不得意

① 運動やスポーツをすることの得意・不得意については、平成20年度に比べて、運動やスポーツをすることが「得意」の割合が男子は高く、女子はわずかに高かった。



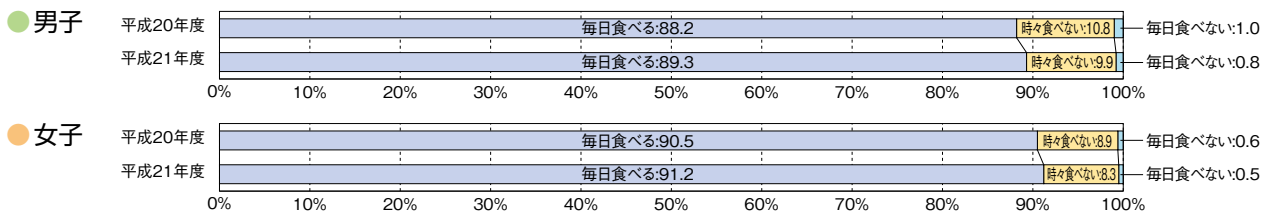
4 | 食習慣・生活習慣

① 朝食の摂取状況については、平成20年度に比べて、男子は朝食を「毎日食べる」割合がわずかに高かったが、女子はほとんど変化がみられなかった。

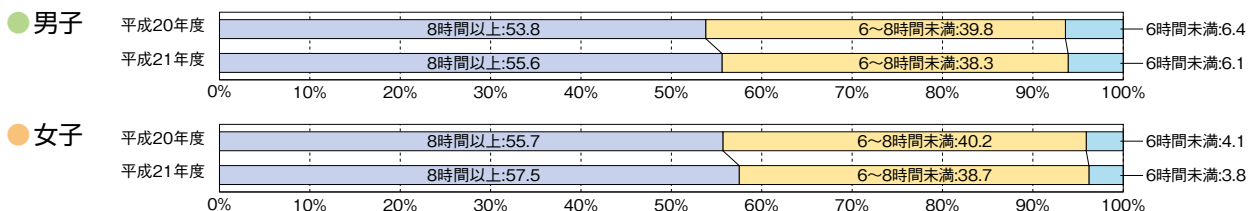
② 1日の睡眠時間については、平成20年度に比べて、男女とも「8時間以上」の割合がわずかに高かった。

③ 1日のテレビ等の視聴時間については、男女ともほとんど変化がみられなかった。

① 朝食の摂取状況



② 1日の睡眠時間



③ 1日のテレビ等の視聴時間

